

市バス利用のマナー向上キャンペーン —迷惑行為に関する意識調査結果—

1. 調査概要

調査カード配付日：2012年5月9日（水）、10日（木） 8時30分～9時30分
配付場所：本郷駅乗車場
回収場所：本郷駅乗車場，猪高緑地（愛知淑徳大学）駅降車場
回収総数：1188部（有効回答数 1185部）

2. 回答者属性

Table 1 性別と学年による回答者属性

	男性	女性	計
1年	107	425	532
2年	50	315	365
3年	25	211	236
4年	6	33	39
その他	3	10	13
計	191	994	1185

※「その他」は院生，職員

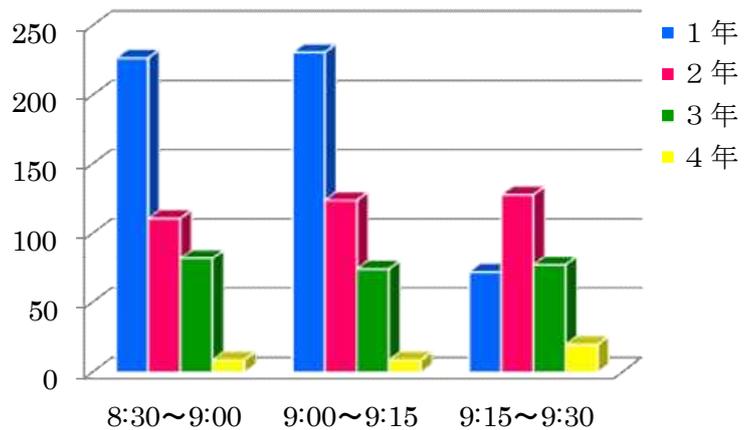


Figure 1 学年別のバス利用時間帯

3. 迷惑行為に対する迷惑認知

市バスを利用する際，次の6つの行動はどれだけ他者に迷惑をかけていると思いますか。「非常に迷惑」（4）～「全く迷惑でない」（1）で評定してください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ①待っている人の列に割り込む（割り込み） | ②席をゆずらない（ゆずらない） |
| ③通路をふさいで奥につめない（つめない） | ④バスの中で大声で話す（大声で話す） |
| ⑤バスの中で飲食をする（飲食をする） | ⑥バスの中で携帯電話で話す（携帯電話） |

Table 2 各迷惑行為に対する迷惑認知

	平均値	標準偏差
割り込み	3.63	0.59
ゆずらない	3.07	0.77
つめない	3.72	0.50
大声で話す	3.38	0.69
飲食をする	2.80	0.79
携帯電話	3.14	0.72

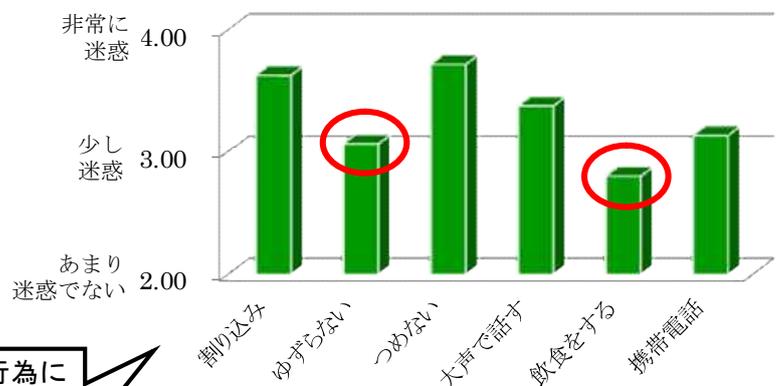


Figure 2 各迷惑行為に対する迷惑認知

自分に被害が及ばないと考えられる行為に対しては「迷惑だ」という認知が薄れる。



「学生以外の他者」のことを考えられるような視点を養う必要がある！

4. 迷惑認知の性差

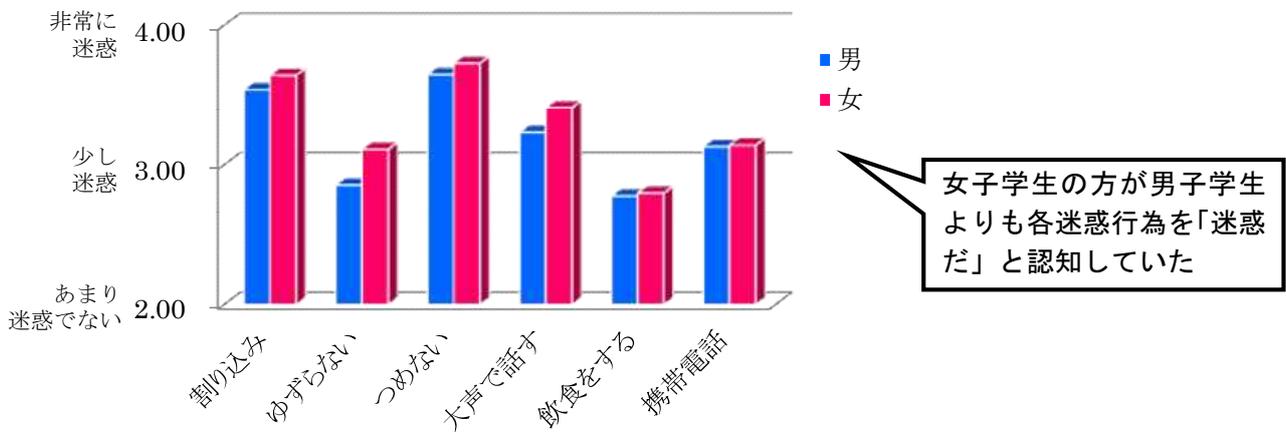


Figure 3 各迷惑行為に対する迷惑認知の性差

5. 迷惑認知の学年による比較

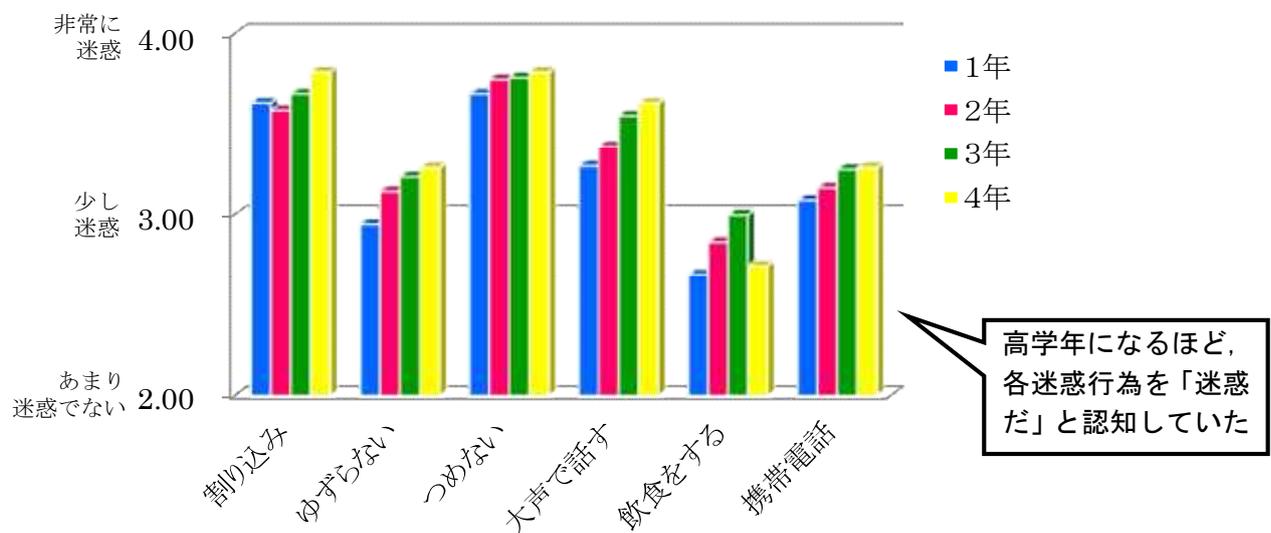


Figure 4 各迷惑行為に対する迷惑認知の学年差

迷惑認知の低い行動は、学生たち自身に被害が及ばないというだけでなく、他の行動に比べて目にする機会が少ない行動かもしれない。しかしながら、市バスは、愛知淑徳大学の学生専用のバスではないし、ましてや観光バスでもない。学生たち自身が迷惑だと感じる行動を再認識し、抑制することから始め、一般利用者の存在を意識していく方向へと視野を広げていくことが重要である。